

名古屋Ruby会議04に
スタッフとして参加した話
...

TL;DR

- 詳細はTwitterハッシュタグ: #nagoyark04
- セッション内容は登壇者スライドを見てね

登壇者スライドまとめ

<u>Ruby x AWS Lambda でサーバーレスの導入 ~TUNAG分析基盤の事例をもとに~</u>	松谷勇史朗(@uuushiro)
<u>沖縄発Rubyフルリモート会社のリモートワークを支える仕組み</u>	安川 要平
<u>開発環境の自動化とチューニングについて</u>	yn-misaki
<u>†Ruby黒魔術経典†</u>	joker1007
<u>Pragmatic Charty</u>	秒速@284km (Kazuma Furuhashi)
<u>良いインターフェイスの探求 : コマンドパターンを例に</u>	大倉雅史
<u>入門 関数型-ish プログラミング on Ruby</u>	@kokuyouwind / Shunsuke Mori
<u>Ruby 3 の型解析に向けた計画</u>	Yusuke Endoh
<u>Rubyが静的型付け言語であることの証拠の発表</u>	三浦英樹

会場: 大須演芸場



スポンサーLTの様子



スタッフとして参加しました



技術イベントの
運営スタッフになる
ための技術

...

運営スタッフとして参加するまでの経緯

- 勉強会(Ruby東海)で名古屋Ruby会議04やるその声
- スタッフやりたい人はRuby東海のSlack上で手をあげてね
- 🙋

以上

結論

- 技術はいらない

結論(補足)

- 技術はいらない
- 主催者になるには色々技術が必要(だと思う)
 - スポンサー(資金)集め
 - 日本Rubyの会とやりとり
 - 場所の手配(会場・懇親会場)

なぜ運営スタッフをやるのか

- 技術・コミュニティへの貢献
- 技術系地域コミュニティの活性化
- ソフトウェアエンジニアを目指す人が増えてほしい
- 名古屋に優秀なエンジニアが増える

まとめ

- 手を挙げてみるの大事
- スタッフの誰かしらは熟練者なので安心感ある
- 自分がやりたいか、やりたくないかが重要
- 盛り上げていくぞ💪

おしまい